

**IT事業を通じて社会課題の解決に取り組み、夢のある未来の創造に貢献します。**

第28号  
2024年5月8日  
発行編集 企画部  
責任者 安藤  
担当 會田・橋本

SDGsニュースは、AGSグループのサステナビリティに関する取り組みやニュースを発信するものです。

## 1. 「4つのマテリアリティ（重要課題）」への取り組み

※ マークは、当社ホームページへのリンクになります。

当社グループは、サステナビリティ（ESG要素を含む中長期的な持続可能性）が重要な経営課題であると認識し、積極的かつ能動的に取り組んでいます。具体的な施策としては、SDGsの達成に向けた取り組みを掲げ、SDGsの基本方針：「IT事業を通じて社会課題の解決に取り組み、夢のある未来の創造に貢献する」のもと、4つのマテリアリティ（重要課題）を定めて推進しております。

### （1）2030年度目標に対する進捗状況（2023年度）

2030年度の達成を目指して取り組んでいるマテリアリティ（重要課題）ごとの目標および実績は、以下の通りです。

豊かな社会の実現	安心・安全な社会の実現																
<p>DXソリューションを通じて、さまざまな課題解決に取り組み、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。</p> <p><b>111%</b></p> <p>D Xソリューション提供社数（累計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2022年度実績</th> <th>2023年度実績</th> <th>2023年度目標</th> <th>2030年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>222</td> <td>266</td> <td>240</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>2023年度目標に対する進捗率</p> <p>自治体向けビジネスチャットツールが順調DX推進支援等の受注増加</p>	2022年度実績	2023年度実績	2023年度目標	2030年度目標	222	266	240	500	<p>セキュリティソリューションを通じて、情報資産を保護し、安心・安全なデジタル社会の実現に貢献します。</p> <p><b>149%</b></p> <p>セキュリティソリューション提供社数（累計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2022年度実績</th> <th>2023年度実績</th> <th>2023年度目標</th> <th>2030年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>166</td> <td>239</td> <td>160</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>2023年度目標に対する進捗率</p> <p>標的型攻撃メール訓練サービスやセキュリティ診断等の受注増加</p>	2022年度実績	2023年度実績	2023年度目標	2030年度目標	166	239	160	300
2022年度実績	2023年度実績	2023年度目標	2030年度目標														
222	266	240	500														
2022年度実績	2023年度実績	2023年度目標	2030年度目標														
166	239	160	300														
資源の効率的利用	地球環境の保全																
<p>データセンタービジネスを通じて、電力の効率的な利用を促進し、CO2排出量の削減に貢献します。</p> <p><b>94%</b></p> <p>データセンター利用社数（累計） （AWSなどのパブリッククラウド利用を含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2022年度実績</th> <th>2023年度実績</th> <th>2023年度目標</th> <th>2030年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>309</td> <td>328</td> <td>350</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>2023年度目標に対する進捗率</p> <p>パブリッククラウドサービスの提供をさらに促進</p> <p>データセンターの再生可能エネルギー利用率は、計画通り増加させ、<b>2023年度現在 20%</b>です。（2030年度目標 100%）</p>	2022年度実績	2023年度実績	2023年度目標	2030年度目標	309	328	350	500	<p>ペーパーレス化の推進を通じて、森林破壊の抑制に取り組み、地球温暖化や大気・水質汚染の防止に貢献します。</p> <p><b>140%</b></p> <p>ペーパーレスサービス提供社数（累計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2022年度実績</th> <th>2023年度実績</th> <th>2023年度目標</th> <th>2030年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>244</td> <td>322</td> <td>230</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>2023年度目標に対する進捗率</p> <p>オンラインストレージサービスやクラウド業務システムが順調</p>	2022年度実績	2023年度実績	2023年度目標	2030年度目標	244	322	230	400
2022年度実績	2023年度実績	2023年度目標	2030年度目標														
309	328	350	500														
2022年度実績	2023年度実績	2023年度目標	2030年度目標														
244	322	230	400														

### （2）トピックス

#### 豊かな社会の実現 ～DXソリューション～

#### 「AWS 公共部門ソリューションプロバイダー」認定

Amazon Web Services, Inc.（以下AWS）が提供する「AWSソリューションプロバイダープログラム」において、「AWS公共部門ソリューションプロバイダー（Public Sector Solution Provider Program）」の認定を取得いたしました。

同認定は、幅広い知識と経験を有するAWSパートナーが、地方自治体、教育機関などの公共部門のお客様に対して、AWSサービスを再販（リセール）するためのプログラムです。



## 「Salesforce 導入支援サービス」の提供開始 [🔗](#)

株式会社セールスフォース・ジャパンの運営する世界シェアNo.1のCRM（顧客管理システム）であるSalesforceにおけるマーケットプレイス（Salesforce AppExchange）に、コンサルタントとして登録されました。

これに伴い、営業活動の効率化や自動化の実現、顧客へのサービス品質向上をご支援する「Salesforce導入支援サービス」の提供を開始しました。

※Salesforce は salesforce.com, inc. の商標です。



## 総務省主催「テレワークトップランナー2023」選出 [🔗](#)

2023年10月、テレワークの活用による経営効果の発揮、コミュニケーション面の課題解決、地域産業の活性化や地域情報化の推進などの地域課題解決への寄与につながる取り組みを実施し、その内容が優れている企業として、総務省主催の「テレワークトップランナー2023」に選定されました。



## 自治体システム標準化への取り組み

政府の「地方公共団体情報システム標準化基本方針」に基づく、自治体システムの標準化及びガバメントクラウドへの移行に関し、当社のお客様である自治体の移行対応を確実なものとするため、当社は、情報収集、仕様の分析、及び方針の確定を進めてまいりました。既存取引先の自治体の他、新規取引先の自治体について各方針が確定しましたので、デジタル社会の実現に向け、開発プロジェクトを推進してまいります。当社は、自治体のDX化を支援しシステムの効率化を進めることで、地域住民の皆様へのより良い行政サービスの提供に貢献してまいります。

## 安心・安全な社会の実現 ～セキュリティソリューション～

### AGSのSaaS型WebARGUSにALSOKの運用支援を追加したホームページ改ざん検知・復旧サービスの提供開始 [🔗](#)

当社、総合警備保障株式会社（ALSOK）、デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社の3社が協業し、ホームページ改ざん検知・復旧サービスを、2023年10月31日より提供開始いたしました。

昨今、サイバー攻撃の高度化とともに、企業のホームページを狙った攻撃も巧妙化しており、改ざん被害を受けると、原因を究明し、対応するまでホームページを停止する必要があることから、訪問者や顧客の信頼を失う可能性があります。お客様のホームページを24時間365日監視し、改ざんが発生しても瞬時に検知し、自動復旧させることでお客様の被害を最小限にするサービスです。

### 「GUARDIANWALL Mail セキュリティ・クラウドサービス」提供開始 [🔗](#)

2024年2月1日より、Microsoft365及びGoogle Workspaceにおけるクラウド型メールの情報漏えいを防止する「GUARDIANWALL（ガーディアンウォール）Mailセキュリティ・クラウドサービス」を提供開始いたしました。

クラウドメールの標準機能だけでは対応できないPPAP（メールで添付ファイルを送信する際にパスワード付きZipファイルで送付する方法）対策や個人情報検知等の機能を有しており、セキュリティを強化いたします。

## 2. 「SDGsへの取り組みを支える基盤」への取り組み

当社グループは、SDGsへの取り組みを支える基盤として、「社会への貢献」「組織体制の強化・充実」「人材の創出」に一層取り組んでおります。

### 社会への貢献

良き企業市民として地域社会と共生し、社会貢献活動を通じて、ともに発展していく企業を目指します。  
主な取り組み：従業員参加型社会貢献活動の推進、環境維持・改善活動の推進地域発展に寄与する活動推進など



埼玉県マスコット「コバトン」

### AGSグループ森林づくり活動

2023年10月28日、埼玉県秩父市定峰峠にて「AGSグループ森林づくり活動」を実施しました。社員やその家族など約150名が参加し、約450本の苗木の植樹を行いました。当日は、晴天の中、気温も高く、上着を脱いで植える姿も多く見られました。植林後は「白石キャンプ村」に移動し、バーベキューにより親睦を深めました。



## さいたま市との共催イベント「秋の自然観察・環境学習会」を実施 [🔗](#)

2023年11月26日、さいたま市環境局所管の環境学習施設「みめま見聞館」にて、「秋の自然観察・環境学習会」を実施し、当社社員が講師となり、再生可能エネルギーに関する講義やソーラーミニカーを使用した実験を行いました。今回は、さいたま市内の小中学生を対象として、合計18名の方々が参加し、意欲的に取り組みました。



## 常盤北小まちたんけん

2023年11月21日、常盤北小学校2年生の児童17名が、AGSビルを訪れ、プロモーションルームから運用監視室、免振ピット、ビル管理室などを見学し、普段見ることのできない設備に高い関心を示していました。当社は、「さいたま市環境教育ネットワーク」の登録パートナーとして、さいたま市内の小中学生を対象にデータセンター見学を実施しています。

## 埼玉県産業教育フェア特別企画シンポジウム

2023年11月11日、「埼玉県産業教育フェア特別企画シンポジウム」が開催され、マイスター・ハイスクール事業（文部科学省が推進する次世代地域産業人材育成刷新事業）においてCEOとして活動する当社社員（前田 稔）が「マイスター・ハイスクール事業と産業界の関わり」についてプレゼンを行いました。また、続いて行われた「産業界と学校の相互理解の促進と改革」をテーマとしたパネルディスカッションに、当社取締役（及川 和裕）が登壇し、関係者（埼玉県教育委員会教育長、文部科学省産業教育調査官、埼玉県経営者協会専務理事、古郡建設株式会社代表取締役社長）と意見を交わしました。



## 「第13回科学の甲子園 埼玉県大会」協賛

2023年11月18日に開催されました「第13回科学の甲子園 埼玉県大会」に協賛し、「AGS賞」として筆記の部第1位の県立川越高等学校に、当社副社長（藤倉 広幸）が、表彰状を授与いたしました。「科学の甲子園」は国立研究開発法人科学技術振興機構が主催し、高校生を対象に、各都道府県の予選会を勝ち抜いた代表校が集い、理科・数学・情報の複数分野を競技する取組です。

## 探求学習プログラム「さいたまエンジン」プレゼンテーション大会「さいたまカップ2023」開催 [🔗](#)

2023年12月27日、「さいたまエンジン」の最終段階となるプレゼンテーション大会「さいたまカップ2023」が開催されました。各学校から企業が選出した代表36チームが、地域をより良くする「イノベーションプラン」のプレゼンテーションを行い、各分野の専門家の方々が審査のうえ「グランプリ」及び「準グランプリ」を選出しました。

地域からイノベーションを生み出す探求学習プログラム「さいたまエンジン」について、当社は、前年度に引続き2023年度も参画しました。美園南中学校の2クラス、岸中学校の1クラスを担当し、約半年間にわたり生徒の探求学習に伴走しました。

## 令和6年能登半島地震の被害に対する義援金寄附

2024年1月25日、被災された皆様への支援や、被災地の復旧・復興に役立てていただくため、一般財団法人埼玉新聞社会福祉事業団を通じて義援金100万円を寄附いたしました。また、それに加えて、社員会による義援金30万円を寄附いたしました。当社グループ一同、被災された皆様の安全と、一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

## 自販機子どもの未来応援基金の寄附および医療活動系寄附型自動販売機の導入

SDGsへの取り組みの一環として、各拠点（AGSビル、さくら浦和ビル、浦和SC）に「寄附型自動販売機」を設置しています。1本買う毎に10円が「子どもの未来応援基金」に寄附され、2023年度の寄附額は、合計318,950円となりました。上記に加え、2024年3月8日、医療活動系寄附型自動販売機を浦和SCへ設置いたしました。自動販売機の売上の2%が、日本赤十字社へ寄附されます。



## フードドライブ活動実施 [🔗](#)

2023年10月31日、「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に向けた取り組みの一環として、フードドライブ活動を実施し、当社グループの従業員への呼びかけを通じて提供された食品等や、社内備蓄非常食など、3,087点を「NPO法人フードバンク埼玉」及び「埼玉県社会福祉協議会」に寄贈いたしました。なお、寄贈後は、子ども食堂や地域の福祉施設などへ提供される予定です。

## 「赤い羽根共同募金運動」実施

赤い羽根カード（クオカード、図書カード）またはバッチ購入による募金活動を実施し、100名（社員、パート、スタッフ）から128,000円分の寄附金が集まりました。寄附金は、社会福祉法人埼玉県共同募金会を通して、埼玉県の福祉向上と災害時に災害ボランティアセンターの設置や運営など被災地支援などに役立てられます。



## 組織体制の強化・充実

グループの持続的成長のために、最適なコーポレートガバナンスの実現と内部統制機能の強化・充実に取り組みます。  
主な取り組み：ガバナンス体制の充実、内部統制機能の強化、適正かつ積極的な情報開示など

### ホームページ拡充による積極的情報開示 [🔗](#)

#### ～日興アイ・アール 全上場企業ホームページ充実度ランキング「スタンダード市場部門 優良サイト」選出～

2023年度、当社ホームページの「株主・投資家情報」及び「サステナビリティ」サイトの拡充を図りました。それらの取り組みが評価され、日興アイ・アール株式会社が実施する「2023年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」において「スタンダード市場部門 優良サイト」に初めて選出されました。

当ランキングは、ホームページについて「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3つの視点で設定された客観的な評価項目に基づき、上位企業を表彰する制度です。今後もステークホルダーの皆様当社へのご理解を深めていただけるよう、ホームページの充実化に努め、積極的に情報発信するとともに、正確かつ公平な情報開示を適時適切に行ってまいります。

## 人材の創出

自律的に成長し、新たな未来を創造できるIT人材を創出します。

主な取り組み：持続可能な社会を実現するIT人材の創出、多様な人材が活躍する環境の整備（働き方改革、健康経営、ダイバーシティ）、女性管理職比率の向上、学生向けIT教育の推進

### 「第7回日経スマートワーク経営調査」で3年連続3星に認定 [🔗](#)

働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する「第7回日経スマートワーク経営調査」において、3年連続で3星に認定されました。

2023年度より新たに、組織の状況や課題を把握する「組織サーベイ」、個人のコンディションを把握する「個人サーベイ」、上司と部下の相互理解・関係構築を醸成する「1on1ミーティング」を開始したこともあり、特に、「人材活用力」の分野において、高い評価を受けることができました。



### 「健康経営優良法人 2024（大規模法人部門）」認定 [🔗](#)

経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」に、7年連続で認定されました。

今回の調査では、「経営理念・方針」「組織体制」「制度・施策実行」「評価・改善」の4つの全カテゴリにおいて前年を上回る評価をいただきました



### 埼玉県の「女性の『働く』を応援するワンストップサイト」に当社社員が掲載されました [🔗](#)

「女性の『働く』を応援するワンストップサイト」は、働く女性、働きたい女性が抱える様々な疑問、悩み、関心などに応える情報提供サイトです。本コラム記事は、女性活躍推進に関する内容となっております。ぜひご一読ください。

### エンゲージメント向上施策（レクリエーションイベント補助金支給）

2023年度より、エンゲージメント向上施策として、レクリエーションイベントに対する補助金の支給を開始しました。本取り組みにより、業務上では繋がりが少ない社員同士が交流するきっかけを作り、日常的に話しやすい関係を構築することによって、コミュニケーションの活性化を図ります。

イベントのひとつとして、2023年12月2日、他部署との交流を深めるため、社員会主催によるイベント「地下神殿見学」を開催し、日本が世界に誇る「首都圏外郭放水路 龍Q館（埼玉県春日部市）」の見学コースを、AGSグループの社員、及びその家族45名で巡りました。



以上